

「ネ ショ ン オ ブ イ ス ラ ム」の 点 (半)

:

明: N O I を去った著名人による 言。

目: [事代におけるイスラ ムから派生した 宗派](#)

より: マイケル ヤング

日 02 Mar 2015

集日 02 Mar 2015

“最も青い眼と最も白い肌をしたムスリム同胞たち”



反白人主 の人 差 を愚かなことと し、正 派のイスラ ムに改宗した元 N O I メンバ のなかには、マルコム X や、ボクシングのヘビ 世界チャンピオンのムハンマド アリがいます。2人はこう っています。

“（マッカへのハッジ巡礼で）なる肌の色、人、国籍、君主、国家の、または 困 国からの一般人に渡るまで、皆シンプルな白い布をまとい、傲慢さや劣等感なしに神へと一心に祈る姿を るのは、とても 重な だった。それはイスラ ムにおける平等概念の だった。”（ムハンマド アリ）

“ここムスリム世界で11日 を ごした 、私は最も青い眼、最も明るい金 、最も白い肌をしたムスリム同胞たちと、同じ神を崇 しつつ、同じ皿から食べ、同じ杯からみ、同じベッドや 毯で休んだ。そして「白人」ムスリムたちの言 、行い、功 からは、私がナイジェリアやス ダン、ガ ナなどのアフリカ 人のムスリムたちと同じ 意を感じ取ったのだ。”

“唯一なる神への信仰は、彼らの精神や 度から「白人さ」を取り除いたのである。それゆえ、我々は真に平等なのだ。”

“この宗教はすべての人 を兄弟として する。人は皆、神の前に平等であり、人 は家族であるとうのだ。エライジャ ムハンマドが私を して利用したように、彼が「イスラ ム」の名を って人々を し、利用している人 差 主 を私は完全に拒否する。しかし、私が愚か者だったこと、そして私による 道が他者に与えた影 は私自身の 任なのであり、そのことでも非 するつもりはない。” (マルコム X)

ネ ション オブ イスラ ムはどこへ向かうのか

たとえ、一部にイスラ ム的要素を含んだNOIの提唱するライフスタイルが称 に するものであったとしても、 在彼らの持つ神学 教 はイスラ ム的でないだけではなく、イスラ ムとは真っ向から相反するものです。しかしながら、良い方向に向かっている兆候がない ではありません。

1976年のエライジャ ムハンマドの死 、彼の息子ウォレス D ムハンマド (在の名はイマ ムワ リスッディ ン ムハンマド) がNOIの指 者となると、 体名をムスリム アメリカン ソサエティに 更し、より正 派イスラ ムへと近づく方向性を示しました。その3年 、不 を表明したルイス ファラカンが脱会し、エライジャ ムハンマドの教えに忠 なるNOIを再 立しました。しかし今年の2月、前立腺がんからの回 に向けた 生活の中、熟考の 会があったのか、ウォレスの方向性と、正 派イスラ ムへ み寄る重要な宣言をしました。

“アッラ は世界への最 の 示と共にムハンマドを遣わした。 言者ムハンマドの に 言者はなく、クルア ンの に 典はないのだ。”

今、彼による神の性 と人 に しても同 の声明が出ることを期待しましょう。ルイス ファラカンと彼のNOIが、いわゆる「ネ ション オブ イスラ ム」から正しいイスラ ムへの道を出したマルコム Xの模 に うことを期待したいものです。マルコム Xはこのように表明しています。

“私はエライジャ ムハンマドによる「拘束服」をもう着てはおらず、それを か他人による物と交 するつもりもない。私は最も正 な意味でのムスリムであり、私の宗教は 都マッカのムスリムたちによって 践されているものと同じイスラ ムなのである。アルハムドゥリッラ 。”

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/659>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。